

# 自然を守り清潔で 快適な生活環境を 築く下水道

町では、公共下水道、農業集落排水およびコミュニティ・プラントによる下水道事業を実施しています。

下水道施設は、わたしたちの日常生活で出た汚水をきれいにし、自然に返す働きを持っています。

すでに整備された区域の皆さんで、まだ下水道に接続されていない家庭は、清潔で快適な生活環境を築くとともに、河川などの水質汚濁を防ぎ、貴重な自然を守るためにも、早めの接続をお願いいたします。



汚水をきれいにする浄化センター

心して行えるように、町では排水設備工事店を指定し、工事の指導と検査を行っています。排水設備指定工事店は、町の基準に適合した排水設備工事を行うために必要な技術を習得していますので、排水設備工事を行う際は、必ず指定

工事店へ申し込みください。

なお、工事費用は個人負担となります。

公共下水道については、供用開始後3年以内にくみ取り式トイレ、浄化槽を廃止して接続される方には、改造工事費補助、融資あっせん、利子補給の制度があります。

下水道施設を一年中スムーズに稼働させるため、家庭から流すものなど、日ごろからルールを守り、上手に使うよう協力をお願いします。

**流してはいけないもの**

台所「キッチンペーパー、ビニール袋、アルミはく、ラップ、ひもや繊維類、油脂、残飯、野菜くず、割りばし等」  
お風呂「髪の毛、せっけん等」  
トイレ「ウエットティッシュ、新聞紙類、紙おむつ、生理用品、水に溶けない紙（ティッシュ）、塩酸等の薬品、ペット用の砂、ガム、たばこ等」  
その他「タオル、ガソリン等の危険物、石、砂等」

**下水道施設班**  
☎(77)5575

## 浄化槽の点検と 清掃を行っていますか



浄化槽は定期的に清掃を行いましょう

10月1日は「浄化槽の日」

浄化槽は、微生物の働きでトイレや台所、お風呂等の排水を浄化する設備です。

汚水の流出により、生活環境に悪影響を及ぼさないよう適正に施工・管理しましょう。

**☎(社)千葉県浄化槽協会**  
☎043(246)2355

**☎(社)千葉県環境保全センター**  
☎043(245)4222

**☎(社)千葉県浄化槽検査センター**  
☎043(246)6283

**浄化槽の  
適正利用・管理を  
使用上の注意**

浄化槽は微生物の働きで、汚水をきれいに分解しています。機能を保つため、浄化槽の電源を切らないでください。また、水に溶けにくい物や油、食べ残し等を直接流すと詰まったりして故障の原因になります。

### (別表) 山武都市広域行政組合清掃業の許可業者

| 許可業者                  | 電話番号      |
|-----------------------|-----------|
| ㈱五十嵐商会(東金市)           | ☎(58)5249 |
| ㈱新興ウォーターマネジメント工業(東金市) | ☎(54)2231 |
| (有)環境衛生センター(東金市)      | ☎(58)2304 |
| (有)渡辺清掃(東金市)          | ☎(58)3308 |
| (有)甲斐浄化槽サービス(大網白里町)   | ☎(77)1717 |
| (有)成東浄化槽センター(山武市)     | ☎(82)0202 |

なりますので、流さないでください。

**浄化槽の保守点検・清掃**

浄化槽の正常な働きを保つために、日ごろから保守点検・清掃が必要です。

汚泥が浄化槽内に溜まり、悪臭や浄化槽の故障・水質悪化の原因となります。

わたしたちの暮らしに欠かすことのできないきれいな水を維持するためにも、専門業者(別表)による浄化槽保守点検・清掃を行いましょう。

**☎(54)0531**  
**環境アクアプラント料金係**

**合併処理浄化槽の  
設置・転換補助**

合併処理浄化槽は、河川等の水質改善に有効な処理設備です。

町では、現在使用している単独浄化槽から、合併処理浄化槽への設置替えの補助を実施しています。

**☎(70)0386**  
**町生活環境課環境対策班**

## 違反建築防止週間

10月11日(土)から17日(金)は、違反建築防止週間です。

安心して暮らすためには、建築物が安全であることが大切です。

建築基準法は、生命・健康・財産を保護するため、地震や火災などに対する安全性に関する基準を定めており、建築物を建てる場合には必ず守らなければなりません。

あなたの所有する建築物について、建築基準法に適合しているかどうか建築士と相談するなど、点検を心掛けましょう。

なお、この週間には一斉公開建築パトロールが実施されます。

**☎(70)0386**  
**町生活環境課環境対策班**

**☎043(223)3186**  
**都市整備課建築宅地班**  
☎(70)0364

## 育つ育てる

人のせいにする子どもたち

子育てをしていくと、とても気になってくることがあります。それは「わが子が、うまくいかないことをすべて人のせいにする」ということでした。何度、注意しても改善しません。

はじめは自分の子どもだけかと思いきや、子育て仲間にも相談すると、みんな異口同音に「うちの子もそんなの。本当に頭に来るのよね。何かしら」という答えが返ってきます。うまくいかないとイライラし、ムカつく、といった攻撃的になる子どもが増えているような気がします。自分の権利を主張することだけがうまくいき、それに対する責任感はないといった風潮があるようです。ひと昔前は、うまくいかないときはまず自分を反省し、ほかの人や物のせいにするか、自分が恥ずかしいことだったのにと、とても不思議です。いつの間にかこんな風になってきたのでしょうか。

わたしは、世の中が便利になりすぎたことが関係しているのかな、と憶測しています。便利さを追求するあまり、ボタン一つでできること、機械に頼ればできることが、多くなりすぎたのではないかと思います。昔の人は自分自身の力で道具を使っていたと思います。

**☎(73)0072**  
**大網白里教室指導員**

道具を使いこなせないのは自分の力加減が悪かったり、力を入れるタイミングが違っていたりするためで、道具のせいではありません。でも自動化が進んだ現在では、機械がうまく動かない原因は機械の内部にあることが非常に多いのです。こういった便利すぎる環境に置かれた子どもたちはある意味、自立が遅れ、自己反省力も失われつつあるのかもしれない。

こんな子どもたちにはあえて不慣れた環境を作ってあげることも必要なのかもしれません。たとえば、山登りなどは危険と隣り合わせではありますが、自分自身の力を磨く良い機会だと思えます。また、大人が見守りながらも手出しをせず、子ども自身の力で生活するキャンプなどを見ていると、子どもが驚くほどたくましく、さと自信をつけていくのがわかります。自分の手足を使って生活する体験を積んだ子どもは、自分の思い通りに事が運ばなくても、人のせいにならず、自分で解決の道を探すことができるようになるのでは、と期待しています。